

区政 Now ! (27年11月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

いしごろう



このたび、荒川区が実施している「子どもの居場所づくり事業」が、プラチナ構想ネットワークの主催する「第3回プラチナ大賞」で審査員特別賞を受賞しました。加えて、マレーシアの視察団が、昨年引き続き、荒川区の清掃に関する取組の視察に訪問されました。これらは、区の先進的な取組が多方面から高く評価された結果であると考えております。

また、町会長の皆さまにご参加いただきました防災に関する研修会や区立中学校防災部による防災対策会議の開催など、「災害でひとりの犠牲者も出さない安全安心の街づくり」にも積極的に取り組んでおります。

今後とも、様々な側面から積極的に取組を進めてまいりますので、皆さまの御支援・御協力をお願いいたします。

● 「子どもの居場所づくり事業」が第3回プラチナ大賞で審査員特別賞を受賞しました

◇ 10月23日、千代田区のイイノホールで、第3回プラチナ大賞最終審査発表会が行われ、区の「子どもの居場所づくり事業～子どもの未来を守る荒川区の子どもへの貧困・社会排除問題への取り組み」が審査員特別賞を受賞し、荒川区が都内の自治体で初めて「プラチナシティ」に認定されました。



表彰状とトロフィーを手に

◇ 「プラチナ大賞」とは、社会や地域の課題解決に先進的に取り組む自治体や企業等を表彰し、モデルとして情報発信することで、更なる広がりにつなげることを目的として設置された表彰制度であり、株式会社三菱総合研究所理事長・小宮山宏氏（前東京大学総長）が会長を務める「プラチナ構想ネットワーク」が平成25年から実施しています。

◇ 今回受賞した「子どもの居場所づくり事業」は、経済的な理由や親の十分な保護が難しい子どもを対象に、夕食の提供や学習相談、生活支援等を行っている団体を支援することを目的として、平成27年度から開始した事業です。

● マレーシアの視察団が東京23区清掃一部事務組合の交流事業で視察に訪れました

◇ 10月28日、東京23区清掃一部事務組合は、ごみ問題に直面するマレーシアへの支援を目的とした事業の一環として交流事業を開催し、マレーシアの視察団が、荒川区の資源の集団回収の取組等を視察に来日しました。



マレーシアクアラランプール
市民による視察

◇ 荒川区では、2008年から、地域コミュニティの強化やリサイクル意識の向上、分別の徹底、資源の持ち去りの抑制、回収コストの削減などの効果が期待できることから、町会、自治会等のリサイクル推進団体による集団回収を区内のほぼ全域で実施しております。

このような地域力を活かした取り組みが高く評価され、今回の視察が行われました。

◇ 当日は、資源回収の様子や回収事業者の作業場の見学等が行われ、終了後は町屋一・二丁目仲町会会員と交流の場が持たれました。

主な事業

● 平成27年度町会長のつどいが行なわれました

◇ 10月20日、ホテルラングウッドで、東京消防庁前消防総監 大江秀敏氏を講師としてお招きし、107名の町会長とともに防災についての研修会が行われました。

◇ 講演では、建物の倒壊や火災から自分や家族の命を守るためには、日頃から、初期消火等の防災行動力の向上を図るとともに、地域住民の連携による消火活動や救出・救護等の体制の強化を図ることが重要であるとお話がありました。

◇ 今後とも、町会・自治会の皆さまとの密接な連携のもと、災害で一人の犠牲者も出さない安全・安心のまちの実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



斉賀荒川区町会連合会会長と大江東京消防庁前消防総監とともに

● 荒川区・慶応義塾大学共催による健康長寿講演会を行いました

◇ 10月19日、ムーブ町屋で、荒川区と慶応義塾大学の共催による、健康長寿講演会「荒川区の高齢者から学ぶ健康長寿のコツ～百寿をめざして～」が開催されました。

◇ 今回の講演会は、平成27年4月に荒川区と慶応義塾大学医学部とで締結された「超高齢者（百寿者）共同研究に関する協定」に基づく取組の一環として行われ、共同研究の研究責任者である三村将教授のほか3名の慶応義塾大学研究者による講演が行われました。

◇ 講演では、「超高齢者（概ね95歳以上）」の健康及び生活実態等について、講師の先生方の調査研究により見えてきた健康長寿の要因や長寿になるための方策の紹介、本年から平成29年にかけて行われる荒川区の「超高齢者」を対象とした調査・分析の内容等についてお話がありました。



慶応義塾大学所属の講師陣

● 「中学生防災対策会議」が開催されました

◇ 10月13日、「荒川区中学生防災対策会議」が行われ、中学生防災部員と消防署員が、「災害発生時、自分たちは何ができるのか」をテーマにグループディスカッションを行いました。この対策会議は、中学生たちから「自分の学校だけでなく、区内10校が集まって荒川区の防災について話したい」という自発的な意見がきっかけとなり開催されたものです。

◇ 区では、子どもたちに災害の知識と備えを身に付けてもらいたいという思いから、今年度、区内中学校全校に防災部を創設しました。

◇ 今後とも、中学生の心に「助けられる人から助ける人へ」という意識を喚起し、今後想定される首都直下型地震の発生に備えて、防災・減災活動に貢献できる「防災ジュニアリーダー」を育成してまいります。



活発に意見を出し合う防災部員たち